

サポートが大切

さらに熊谷信利さんは「本人たちが『来たい』と思える施設でなければ、来てはくれません。勤務している先輩たちが『あの施設はよく面倒を見てくれるし、ちゃんと約束を守ってくれるよ』と言った評判が施設の評価につながるのです。今勤務している人たちを大事にすることは、結果として長く働いてもらうこと、良い職場を創ることに繋がり、介護人材の不足への対応にもなると思っています」と話していました。

また、光風会では、今年、モンゴルから技能実習生2人を受け入れ、特定技能へ切り替えられるように教育をしていく計画です。

今後、多くの施設で外国人介護人材の受け入れが予測されますが、熊谷さんは「外国人の受け入れが進むと、しっかりとしたサポート体制がない施設が増加することが懸念されます。光風会で過保護とも思えるぐらいのサポートをしているのは、本人たちが向上する機会、勉強する機会を提供して日本の社会で自立していくための支援が必要だと思っているからです。支援が追い付かず失踪する等、社会に不安を与え、外国人の評判を落とすようなことがあってほしくありません。受入側にも、外国人にも、自覚を持ってもらうことが大切です」と話していました。



外国人介護人材の受け入れをサポート

山梨メディカルケア協同組合

2019年7月。医療・介護サービスを行う山梨県内の民間病院が中心となり「山梨メディカルケア協同組合」(事務所:南アルプス市)が設立されました。飯久保貴理理事長に、設立の目的、今後の事業展望についてお伺いしました。



山梨メディカルケア協同組合
理事長 飯久保 貴さん
(医療法人社団 高原会 統括本部長)

Q. 設立の目的を教えてください。

A. 少子高齢化が進む中、私たち医療・介護サービス事業者は、増大する需要に的確に対応するため、機動的かつ弾力的なサービスを迅速で多様な形態で提供していくことが求められています。しかし、多くの事業者はこのような事業を展開するための人材、資金等が不足しており、独自に調達することは大変困難な状況にあります。そこで、山梨県内の民間病院が中心となり、中小規模の民間事業者との相互協力により、外国人技能実習生の受入事業を展開することを目的に「山梨メディカルケア協同組合」を設立しました。

Q. 外国人技能実習生の受入事業について詳しく教えてください。

A. 外国人技能実習制度の監理団体としての許可を本年1月31日に受けました。加入組合員(加入施設)の求めに応じ、ネパールやミャンマーなどの外国人技能実習生の送り出し機関と連携し、現地での研修、面接、採用までの支援を行うと共に、採用後は定期的に雇用状況を確認いたします。組合が監理団体となることで、通常月額4万円~7万円かかるとされる監理費を大幅に抑えることができていると思っています。組合では2万5千円程度の監理費を予定しており、組合員の経費削減に繋がりたいと考えています。5月には60人を超える外国人技能実習生を受け入れる計画です。入国後の実習生が日本語や介護技術を学ぶため、昨年3月、施設内に「山梨日本語介護研修センター」も開設しました。日本語はもちろん、日本の文化、生活習慣を学び、また医療法人の協力のもと介護研修も行い、実習生をサポートします。技能実習(3年)終了後には「特定技能1号」に切り替え、多くの実習生に介護福祉士の資格を取得してもらい引き続き日本で働いてほしいと考えています。

Q. 今後の事業展望について教えてください

A. 組合では、外国人技能実習生の受入事業の他、医療介護の関連資材の共同購入事業を実施しています。中小規模の民間事業者が互いに協力し、必要な共同事業や相互の交流を行うことで、経営基盤の強化、サービスの質の向上に努め、さらなる地域医療、福祉の向上に貢献していきたいと考えています。

山梨県では、外国人材を雇用する際の制度や手続きなどについて、県内企業からの様々な問い合わせに対応するため、相談センターを開設しています。

外国人材の雇用に関する企業相談窓口

山梨県外国人材企業相談センター

住所/甲府市大津町2130-2 山梨県立中小企業人材開発センター 1階 電話/055-225-5605 FAX/055-225-5658
開設時間/午前9時~午後5時(相談受付は午後4時30分まで)※土日・祝日・年末年始をのぞく